富山市議会
6月定例会
2021年 6/10〜6/30

〝だれ一人とり残さない〟姿勢で―

ワクチン接種の推進・加速を

日本共産党　コロナ封じ込めへ、対案示し強化を求める

4月の改選後はじめてとなる6月定例会で、吉田おさむ市議、赤星ゆかり市議が一般質問しました。両市議は、新型コロナを封じ込めるために、ワクチン接種の推進と戦略的なPCR検査の拡充について、具体的な対策を提案しました。

介護・障害者施設

通所・訪問系従事者にも 優先接種の拡大が実現

赤星ゆかり議員（6/21 本会議）

赤星市議は、まず「予約が取れない」などの苦情に、電話回線を増やすなどの対応を求めました。また、65歳以上の高齢者の接種が「7月末完了」との見通しと発表したが、なぜ希望者を「70％」とみるのかと問いかけ、〝だれ一人とり残さない〟姿勢で取り組むべきだと強調。藤井市長は「インフルエンザなど過去の予防接種の実績はおおむね70％であり、目標を70％とした。希望する人全員に受けてもらう姿勢だ」と答弁しました。

医療の訪問系は〇で ヘルパーは×？

赤星市議は、医療従事者と介護施設の入所施設の従事者は「優先接種」の対象になっているのに、通所・訪問系従事者が対象になっていないことを問題視。「訪問看護師は対象なのに、訪問ヘルパーは対象外なのか」との声を紹介し、障害者施設・高齢者施設の従事者すべてを優先接種の対象に加えるよう求めました。

5月の方針から 大きく前進

田中福祉保健部長は「クラスターを防ぐために、優先接種の対象に加える」と答弁。民医連や日本共産党が申入れした5月時点より、前進した姿勢を示しました。

保育士や教職員も 優先接種を

また保育士や教職員なども優先接種を検討するべきとの提案についても「感染状況をみながら検討していきたい」と前向き答弁。7月に入ってその方向で検討が進んでいます。

赤星議員の質問動画

ワクチンは万能ではない

新規入院患者に、PCR検査を クラスターを起こさせないために

吉田おさむ議員（6/16 本会議）

吉田市議は、「ワクチンは万能ではない。イギリスではワクチン接種が進んでいるが、いま感染の大爆発が起っている。政府の対策はワクチン一辺倒になっている」と指摘し、新型コロナを〝封じ込める〟ためには、戦略的なPCR検査が必要と提起しました。

定期的なPCR検査に踏み出せ

県は、射水市の障害者施設での大規模なクラスターを受けて、6月～7月に高齢者と障害者の入所施設従事者を対象にいっせいPCR検査を「1回きり」ですが実施します。吉田市議は「1回きりでは意味がない」というのが専門家の見解。今後、市として定期的な検査をやる考えはないか」と問いました。

田中福祉保健部長は、県は1回目の検査結果をみて今後の方向を決めるといっており、県の動向を注視したいとの答弁にとどまりました。

集団感染が起きてからでは遅い

吉田市議は、病院や介護施設のみなさんから「新規の入院や入所者にPCR検査ができれば安心」との声を紹介。「集団免疫」ができるまでの間「少なくともワクチンを接種していない人を対象に、PCR検査を実施する考えはないか」と問いました。

田中部長は、疑いがある場合や感染が発生した場合は検査するが、入院時の検査で陰性であってもコロナの潜伏期間は2週間で、その後、陽性にならない保証はないとして「検査を実施する考えはない」と答弁。吉田市議は、クラスターが起きてからでは遅い、他府県や県内の一部の民間病院でも実施しており、真剣に検討すべきだと求めました。

吉田議員の質問動画

ワクチン供給「見通し立たず」

日本共産党が緊急申し入れ

日本共産党は、この間2回（5/26と6/28）コロナ対策について緊急申入れを行いました。

6月の申入れでは、ワクチン接種のスケジュールを市民に周知する、優先接種に保育士や教職員を加える、職域接種の接種券の送付を丁寧にすることなど、ワクチン接種に絞りました。

福祉保健部は、「7月9日に64歳～60歳、基礎疾患のある人に接種券を送付する。しかし、国からのワクチンの供給量の見通しが立たない（少ない）」と述べ、接種券送付や予約のスケジュールが決められない状態であることを明らかにしました。

優先接種については、教育委員会などで検討が進んでいると述べました。

市に申し入れする吉田・赤星両市議（5/26）

コンパクトシティ政策で―

やっぱり、中心部に優遇？

大型再開発ビルの固定資産税軽減

6年間で約6100万円も

富山市議会は4月30日に臨時議会を開き、前市長が行った「専決処分」の承認などを行いました。その中に、中心市街地の再開発事業（保留床）にかかわる固定資産税の「軽減」（軽減率＝住宅以外4分の3、住宅3分の2）を5年間から2年延長する条例改正案件がありました。

日本共産党は、吉田市議が「中心部だけ軽減するのは、市民の理解が得られるか」と藤井市長に質問。市長は「コンパクトシティ政策は、持続可能な都市経営として内外から高い評価を受けており、さらに深化させたい。市民の理解は得られると考える」と答弁。赤星市議は討論で、「あまりにも中心部優遇で、市民の理解は得られない」と反対しました。

他の会派はすべて賛成しました。

◆平成28年度～令和3年度の軽減額は、合計約6100万円（市資産税課調べ）

●あなたのご意見ご要望をお寄せ下さい。

☺日本共産党 富山市議会報告☺
市議会だより

2021年7・8月 No.184
発行／富山市議会 日本共産党

議員控室　TEL 076-443-2156　FAX 076-441-8418
市議団ホームページ　http://toyamashigidan.jcpweb.net/

富山市議会インターネット中継　検索

富山市議会インターネット中継（生・録画）もごらんください。
ケーブルテレビは本会議当日の生中継のみです。